

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (2単位)	3. 科目番号	SBMP2155
2. 授業担当教員	柘植 将介		SSMP2155
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法) について理解した上で、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方 (原理・理念) を学び、現代に至るまでのソーシャルワークの歴史的な形成過程について学ぶ。</p> <p>さらに、社会福祉士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーそれぞれの倫理綱領を読み解き、ソーシャルワークの価値規範と倫理について考究を行う。</p>		
8. 学習目標	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題1: ソーシャルワーカーの倫理綱領・行動規範学び、ソーシャルワーク実践においてなぜ倫理綱領を遵守することが大切なのかを考察せよ。</p> <p>※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。</p> <p>※各章・節の適当な時期に授業の内容に関する確認テストを行う。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版、2021年。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の3/4以上の出席が必要)。遅刻 (10分程度迄) は3回で1回休みとなる。</p> <p>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>2. ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>3. ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>4. ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <p>1. 授業中はつねに集中力を保って受講すること。積極的態で授業に参加することが期待されている。</p> <p>2. 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチを切っておくこと。</p> <p>3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。</p> <p>4. レポートの提出日を厳守すること。</p>		
13. オフィスアワー	授業時間の前後		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション: シラバス、講義概要、試験・レポートについての説明	事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。
		事後学習	ソーシャルワーク I のねらいについて講義用ノートにまとめる。
第2回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (1) : ソーシャルワーク専門職への期待と社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学ぶ。	事前学習	テキスト p2-22 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学習内容をまとめる。
第3回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (2) : 社会福祉士および精神保健福祉士、ソーシャルワーカーの専門性について学ぶ。	事前学習	テキスト p23-35 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士の専門性についてノートにまとめ説明できるようにする。
第4回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (3) : ソーシャルワーカーに求められるコンピテンシーについて学ぶ。	事前学習	テキスト p36-50 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士に求められるコンピテンシーについてまとめる。

第5回	ソーシャルワークの概念(1) : ソーシャルワークの定義について学ぶ。	事前学習	テキスト p52-67 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの定義について学習内容をまとめる。
第6回	ソーシャルワークの概念(2) : シーシャルワークの構成要素について学ぶ。	事前学習	テキスト p68-83 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの構成要素について学習内容をまとめる。
第7回	ソーシャルワークの基盤となる考え方(1) : ソーシャルワークの原理について学ぶ。	事前学習	テキスト p86-102 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	社会正義、人権尊重と権利擁護、集団的責任と多様性の尊重について要点をまとめる。
第8回	ソーシャルワークの基盤となる考え方(2) : ソーシャルワークの理念(当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援)について学ぶ。	事前学習	テキスト p103-110 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援について要点をまとめる。
第9回	ソーシャルワークの基盤となる考え方(3) : ソーシャルワークの理念(エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、原理・理念に基づくソーシャルワーク)について学ぶ。	事前学習	テキスト p111-119 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョンについて要点をまとめる。
第10回	ソーシャルワークの形成過程(1) : ソーシャルワークの源流と基礎確立期、発展期について学ぶ。	事前学習	テキスト p120-144 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、基礎確立期、発展期について要点をまとめる。
第11回	ソーシャルワークの形成過程(2) : ソーシャルワークの展開期と統合、日本におけるソーシャルワークの形成過程について学ぶ。	事前学習	テキスト p145-169 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの形成過程において、日本のソーシャルワークの形成過程について要点をまとめる。
第12回	ソーシャルワークの倫理(1) : 専門職倫理の概念と倫理綱領について学ぶ。	事前学習	テキスト p172-187 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	専門職の概念について要点をまとめる。
第13回	ソーシャルワークの倫理(2) : 倫理綱領とソーシャルワーク実践について学ぶ。	事前学習	テキスト p175-191 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領を読み返し、その実践と課題について要点をまとめる。
第14回	ソーシャルワークの倫理(3) : 倫理綱領と倫理的ジレンマについて学ぶ。	事前学習	テキスト p192-203 を熟読し、重要であると考ええる点、不明な点をノートにまとめる。
		事後学習	倫理綱領と実践上のジレンマについて要点及び自身の考察をまとめる。
第15回	まとめ : これまでの学習を振り返りその内容を確認、今後の自己課題を明確にする。	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。
期末試験			